

	施策①	施策②	施策③	施策④																			
取組	広域路線の運行形態のあり方の検討	幹線交通、広域交通、生活圏交通間の利便性の向上に関する取組	公共交通利用の促進と意識醸成を図る広報活動に関する取組	観光誘客による公共交通の活用に関する取組	その他																		
阿寒バス		<ul style="list-style-type: none"> ・Googleマップによる乗換案内やリアルタイム運行情報の提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ・7/1（土）、釧路西部商店会主催「多良福まつり」にて（主にWAON決済での）路線バス乗り方教室を実施。 ・9/10（日）、釧根地区トラック協会主催「トラックDAYフェスタ」にて（主にWAON決済での）路線バス乗り方教室を実施。 ・10/7（土）、弟子屈町にてバスの乗り方教室を実施。 ・11/11（土）、3社合同でのバス運転体験合同就職相談会の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自社ホームページでの観光コース掲載（定期観光バスで行く釧路知床号・知床釧路号バス旅、空港発着ガイド付き観光バスで巡る道東ぐるっと旅）。 ・自社ホームページからの公共交通で旅するひがし北海道（ひがし北海道交通ネットワーク）サイトへのリンク設定。 ・釧路・根室・羅臼4/7 daysフリーバスポートのWEB販売。 ・Googleマップによる乗換案内やリアルタイム運行情報の提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍前（2019.04～2019.10）と直近（2023.04～2023.10）の比較では、 <table border="1"> <tr><td>路線バス</td><td>85.8%</td></tr> <tr><td>定期観光バス</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>都市間バス</td><td>64.7%</td></tr> <tr><td>乗合計</td><td>80%</td></tr> </table> （2割が回復していない） 路線別、貸切利用の状況をみると、 <table border="1"> <tr><td>空港線</td><td>97%</td></tr> <tr><td>阿寒線</td><td>82%</td></tr> <tr><td>鶴居線</td><td>105%</td></tr> <tr><td>釧路羅臼線</td><td>68%</td></tr> <tr><td>貸切バス</td><td>82%</td></tr> </table> 乗合・貸切の総計 ≒ 81%と、コロナ禍前と比べると2割が復調していない状況。 	路線バス	85.8%	定期観光バス	100.0%	都市間バス	64.7%	乗合計	80%	空港線	97%	阿寒線	82%	鶴居線	105%	釧路羅臼線	68%	貸切バス	82%
路線バス	85.8%																						
定期観光バス	100.0%																						
都市間バス	64.7%																						
乗合計	80%																						
空港線	97%																						
阿寒線	82%																						
鶴居線	105%																						
釧路羅臼線	68%																						
貸切バス	82%																						
くしろバス	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路線（根室線）については、令和5年10月6日に根室振興局、釧路総合振興局、沿線市町、バス事業者での協議を実施したが、いまだに令和6年10月以降、どのような形態で運行するのか結論が出ていない。 ・このままでは、令和6年9月を以って路線廃止とする方向で検討せざるを得ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路町活性化協議会において、釧路町遠矢地区町営バスと遠矢線（地域間幹線系統）との相互乗り継ぎによる利便性の向上を検討中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・7/1（土）、釧路西部商店会主催「多良福まつり」にて（主にWAON決済での）路線バス乗り方教室を実施。 ・9/10（日）、釧根地区トラック協会主催「トラックDAYフェスタ」にて（主にWAON決済での）路線バス乗り方教室を実施。 ・11/11（土）、3社合同でのバス運転体験合同就職相談会の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自社ホームページからの公共交通で旅するひがし北海道（ひがし北海道交通ネットワーク）サイトへのリンク設定。 ・釧路・根室・羅臼4/7 daysフリーバスポートのWEB販売。 ・バスルートの検索、運行状況を表示するスマートフォンアプリの提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年9月末（補助金年度で令和5年度）での運送収入は対前年比約97%。 ・令和5年10月1日実施ダイヤ改正より21時台の便を20時台へ繰り上げるなど、2024年問題への対応策として実施した。また、早朝便3系統（いずれも代替系統あり）を廃止し効率化を図った。 ・運転手確保に繋げるため、関係機関の協力を仰ぎながら、11月11日（土）運転体験会と就職相談会を実施（参加者82名）した。 ・しかしながら、今後運転手確保は非常に厳しく、路線バスの現状は維持していきたいが、運転手不足のため、不採算路線などの路線維持について検討していかなければならない場合もある。 																		

	施策①	施策②	施策③	施策④	
取組	広域路線の運行形態のあり方の検討	幹線交通、広域交通、生活圏交通間の利便性の向上に関する取組	公共交通利用の促進と意識醸成を図る広報活動に関する取組	観光誘客による公共交通の活用に関する取組	その他
根室交通	<p>・釧路線（根室線）については、令和5年10月6日に根室振興局、釧路総合振興局、沿線市町、バス事業者での協議を実施したが、いまだに令和6年10月以降、どのような形態で運行するのか結論が出ていない。</p>	<p>・阿寒バス『バス旅』予約サイト、公共交通で旅するひがし北海道（ひがし北海道交通ネットワーク）での販売。</p>	<p>・サイネージやGoogleマップでやスマホアプリで現在地がわかるリアルタイムな運行情報の提供 他社でのWEB販売（お互いのホームページや予約サイトでPR）。</p> <p>・11/11（土）、3社合同でのバス運転体験合同就職相談会の実施。</p>	<p>・自社ホームページからの阿寒バス『バス旅』予約サイト、公共交通で旅するひがし北海道（ひがし北海道交通ネットワーク）へのリンク設定。</p> <p>・釧路・根室・羅臼4/7 daysフリーバスポートのPR強化。</p> <p>・土日祝限定往復乗車券の販売強化。</p> <p>・モデルコースへ路線を組入れ、WEB販売などで幅広くPR。</p> <p>・インフルエンサー等で既存路線のPR。</p>	<p>・コロナ禍前(2019年)と直近(2023年)の比較)</p> <p>乗合 95%</p> <p>都市間バス 40%</p> <p>乗合計 75%</p> <p>・現在の乗務員の人員は確保できているが、乗務員高齢化の為、今後数年間に定年退職者ができる事から、採用が追い付かず不安である。</p> <p>11月11日（土）に運転体験と就職相談会を実施したが未だ採用には繋がっていない。</p> <p>市町村助成金や自社での助成金制度を活用できる事を幅広くPRしていきたい。</p>
J R北海道					<p>・新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが5類に移行され、ご利用が回復したこと、インバウンド需要の取り込みを含め利用促進に取り組んだ結果、対前年度で営業収益や輸送密度が増加した。</p> <p>釧網線 営業収益171百万円 （対前年度+33百万円、対2019年度△6百万円） 営業損益△625百万円 （対前年度+79百万円、対2019年度+49百万円） 輸送密度397人/日 （対前年度+84人、対2019年度△59人）</p> <p>花咲線 営業収益91百万円 （対前年度+14百万円、対2019年度△2百万円） 営業損益△518百万円 （対前年度+19百万円、対2019年度+31百万円） 輸送密度251人/日 （対前年度+48人、対2019年度△40人）</p> <p>根室線（帯広～釧路） 営業収益657百万円 （対前年度+189百万円、対2019年度△137百万円） 営業損益△1,902百万円 （対前年度+352百万円、対2019年度△54百万円） 輸送密度1,250人/日 （対前年度+393人、対2019年度△349人）</p>